

栽培記録原稿

ガイドボランティア活動記録 (平成23年)

山本 昌生

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入し、現在(平成23年12月現在)約90名が活動中である。前号(第32号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成13年度栽培記録(第23号)に記している。

ガイド活動は定期ガイドとしてベゴニア温室、大温室などの温室と屋外の花の進化園、ロックガーデンを毎週土曜日と日曜日及びイベント時の祝日に実施し、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイなどを案内している。メンバーの人数が増えたため、4月から、すべての祝日もガイド活動を行うこととした。このほかに申込ガイドとして学校の自然体験学習や公民館、老人会、観光ツアー会社などからの申込ガイドに対応した(表1)。

活動を開始して、3月に10周年を迎えたため、記念としてボランティアのイベント(後述)を行った。

また、8・9月と12月に開催した夜間開園では夜の植物を案内した。特に8・9月にはサガリバナ、オオオニバス、ゲッカビジン、ヤコウボクなど夜に開花(香る)する植物などをガイ

ドした。

園内の見頃の植物を案内する「季節の花さんぽ」は毎月第2火曜日と第4土曜日の月2回実施した(表2)。特別企画展「ふるさとの植物を守ろう～植物の現状と保全への取り組み～」関連行事の「園内植物観察会」に協力し、園内に植栽している絶滅危惧植物の案内を2回行った。

●日直の割当について

活動日に午後1時から、情報交換やガイドを行う場所の割り当てのミーティングを行っているが、その担当を日直として、当番表を作成するときに決定している。しかし、希望日をすべての人が提出し、過去に日直に従事した事がない人を選んで、日直を割り当てることは、時間的に非常に厳しいとリーダーズから問題提示があり、ボランティア発足当時は特に当てていなかったことから、当面、日直なしで当日の当番メンバー内で、誰かがまとめ役を積極的に行うこととした。

●例会と研修について

偶数月にボランティア活動の報告・協議及び研修として植物の学習を行う例会を午前10時から12時まで6回開催した。2月の例会では、京都府立植物園と名古屋市東山植物園のボランティアの活動状況を報告した。4月の例会は、総会のため勉強会はなく前年度の活動報告と会計報告、新年度の活動計画案と予算案を審議し了承された。6月からは園内の植物や研究への取り組みに関

表1 定期ガイド・申込ガイド実績表(平成22年度・平成23年)

年/月	定期ガイド*1										申込ガイド*2		合計	
	温室					屋外			小計	季節の花さんぽ	計	件数		人数
	日数(日)	ベゴニア温室	大温室*3	カワ温室	花の進化園	ロックガーデン	その他*4							
平成22年 4～12月小計*	91	2,673	4,298	2,355	1,963	1,572	644	13,505	232	13,737	17	876	14,613	
平成23年1月	8	120	202	126	53	51	0	552	13	565	1	30	595	
2月	7	264	416	280	150	194	0	1,304	28	1,332	1	13	1,345	
3月	8	309	346	363	141	297	91	1,547	65	1,612	2	22	1,634	
平成22年度合計	114	3,366	5,262	3,124	2,307	2,114	735	16,908	338	17,246	21	941	18,187	
平成23年4月	9	444	796	450	318	310	47	2,365	42	2,407	3	94	2,501	
5月	12	590	751	345	418	394	280	2,778	21	2,799	5	145	2,944	
6月	8	193	299	175	120	111	158	1,056	84	1,140	1	11	1,151	
7月	11	191	516	223	198	120	20	1,268	32	1,300	1	46	1,346	
8月	6	179	389	123	161	101	0	953	23	976	1	20	996	
9月	9	187	355	181	190	100	320	1,333	37	1,370	1	28	1,398	
10月	11	292	631	351	367	244	22	1,907	10	1,917	6	262	2,179	
11月	10	267	686	298	259	156	0	1,666	40	1,706	4	245	1,951	
12月	9	154	473	164	92	37	235	1,155	20	1,175	1	21	1,196	
平成23年度小計	85	2,497	4,896	2,310	2,123	1,573	1,082	14,481	309	14,790	23	872	15,662	

* 平成22年の4～12月の詳細は前号(栽培記録第31号)に記したので省略した。

* 1 定期ガイドは土・日の昼間と祝日・夜間開園に実施したガイドとグリーンフェアの平日ガイド(10月8日～16日(4日間4件73人))も含めた。

* 2 申込ガイドは団体から申込みがあったガイド(10月の近隣への出前ガイドを含む)。

* 3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

* 4 その他は、サクラ(桜観賞会(8日間8件54人)を含む)、バラ、アジサイなど特定の時期の植物案内とグリーンフェアの平日ガイドとした。

する話題を職員が約50分間提供した。普段ガイドを行っている身近な内容であるため、関心も高く、質問も多かった。また、職員の考え方もわかり、身近に感じるようになったとの感想もあった。5月にはバラを、6月にはハナショウブの研修を行った（写真1）。昨年8月から植物交換会（植物のみの市）として会員が自宅の植物を持ち寄り、希望の人は持ち帰ることで、新しい植物の栽培を経験し、栽培方法など情報交換を行うようにした。ビヨウヤナギ、キクイモなどが持ち込まれた。12月の例会は、忘年会を兼ねた交流会とし、濱谷技師の研究活動の講演を聞いた後、お弁当を食べた。

園外の研修は、ボランティア同士の親睦を兼ねて、6月に神戸市の六甲高山植物園と神戸市立森林植物園を訪れ、高山植物園では職員の森下絵里氏に、森林植物園では職員の福本市好氏による案内を受けた。また、10月には福岡市植物園を訪れ、園長始め職員から説明を受け、ガイドボランティア同士の交流を行った。当園とは、異なる施設を見学し、解説を受けることは、現在の活動や当園の状況を客観的に見ることができ、ボランティアメンバーの意識を高めるのに役立つと思われる、さらに親睦も図れることから継続していきたい。

情報提供として不定期にガイドボランティア通信を発行し、研修の記録を報告した（表3）。



写真1 ハナショウブ研修

●自主活動について

前述したように3月27日（日）に、活動10周年を記念して、ガイドボランティアの記念事業を行った。

原則全員参加とし、多くのメンバーにより、サギソウのプレゼント、お茶会、ガイドツアー、竹ポックリ、クラフトコーナーの実施や活動10

年をまとめたパネルと会員全員の顔写真を掲示し、入園者にボランティアの存在や活動を知っていただくための活動やコーナーを設けた（写真2・3）。地元の中国新聞にも取り上げられ、市民への広報もできた。



写真2 10周年を記念してサギソウのプレゼント

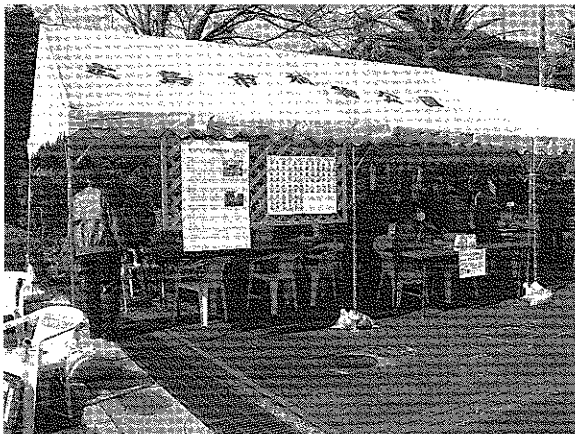


写真3 活動10年をまとめたパネルと会員全員の顔写真を掲示

ガイド活動のテキストであるガイドハンドブック2010年版は、昨年（2010年）秋から取り組み、これまで温室植物と屋外植物の2冊だった内容を整理・簡略化し1冊にまとめ、2月の例会時に会員に配布した。

5月4日（みどりの日）・5日（こどもの日）と10月の「秋のグリーンフェア」及び11月3日の植物公園開園記念日にガイドボランティアコーナーを設け、入園者に活動をアピールし、竹馬体験、どんぐりの試食、手作り苔玉販売などを行い好評だった。

お茶会を10周年記念の3月27日に開催した。日本庭園の落ち着いた雰囲気の中でお茶を飲む事ができるとあって、人気は高かった。6月12日（日）に再度お茶会を開催し、茶室の利用を促進するためアンケートを実施した。その結果、茶室があることを知っていた人は半数程度（45%）だったが、自分たちでお茶会を開くために利用

できることを知っていた人は少なかった(24%)。今回のお茶会により、利用促進が図れると思われる。また、ボランティアの協力により、日本庭園の魅力的な時期にお茶会を開催し、入園者に憩いの空間と時間を提供できる。

秋のグリーンフェア2011実行委員会に参加し、各種のイベントに企画段階から協力し、ガイドボランティアコーナーのほかに大温室内に設置されている地上約10mの管理道を参加者に案内するイベントにも協力した。また、平日の入園者増加対策とサービスのため、グリーンガイドツアーを開催し、園内の見どころを案内した。

親子植物体験教室や広島市内の小学校を対象に、ジュニア・プロジェクトと名付けた子供向けのネイチャーゲームプログラムや植物案内を実施し好評だった。

平成19年12月から開始した入り口のインフォメーションコーナーは、さらにわかりやすくするため、園内地図をガイド実施日に置き、地図のまわりにボランティアが撮影した見ごろの花や植物の写真を配置し、解説した(写真4)。これは、好評なため、園内地図を小さくして地図の周りにできるだけ多くの写真を掲示できるようにした。写真は、随時撮影してストックを増やしていくこととしている。

植物多様性保全への協力として植物調査や標本の作製、整理を定期的に行った。

このほかに野生植物の観察会、ガーデニングの勉強会、園芸クラフトの勉強会、サギソウの無

菌播種、ランの植え替え作業、秋の洋ラン展などの展示への協力、ロックガーデンや日本庭園の作業補助などを有志が行っている。

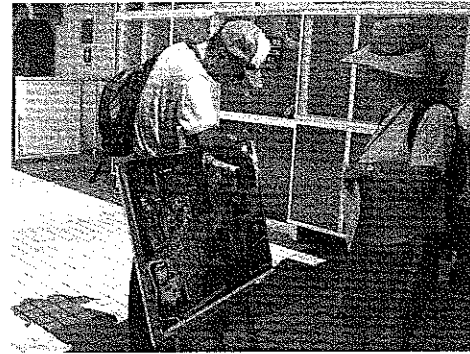


写真4 入口に見ごろの植物写真を掲示

●新規ガイドの募集と養成

体調不良や家庭の事情により、退会する人がいるためと会の活動を充実させるために平成22年11月に新規ガイドを募集した。24名の応募があり、平成23年4月からの21名がガイド活動を開始した。平成23年の募集は、会員の数を制限するため行わなかった。

●10年間のまとめ

- ・平成13年の活動開始から平成23年で10年を経過した。その前は定期的なガイド活動がなかったことを思うと、ガイドボランティアの導入により当園の普及啓発事業に大いに貢献した。
- ・調査研究活動に於いても、園内や近郊の植生調査を行い、目録や植生図の作成を行った。植物標本の整理や作成に貢献し、広島県の植生解明及び当園の研究活動に貢献した。
- ・イベントなどに、ボランティアコーナーを設置し、苔玉やリースの販売、どんぐりの試食、クラフト体験、竹ポックリコーナーを開設し、にぎわいと入園者との交流の場とした。

●今後の計画及び課題

- ・ガイドボランティアの会が90人規模となったが、非常に熱心に活動する会員がいる一方で、ほとんど活動していない会員もいて、差が大きくなっている。例会への出席がなく、活動回数が極端に少ない会員は退会を促し、会員のレベルを揃える必要があると思われる。
- ・現在の役員が3月に任期終了となるため、役員改選となる。新役員となっても円滑に運営できるよう体制作りを行い、植物公園側も協力していくこととしたい。

表2. 季節の花さんぽ実績表(平成23年)

開催日	曜日	観察テーマ(見ごろの植物)	参加者数	担当者
平成23年1月22日	土	サボテン温室の植物と早春の山野草	13	橋谷
2月8日	火	梅園と早春の花木	15	若木
2月26日	土	寒桜や寒緋桜と早春の山野草	13	中野
3月8日	火	ヤブツバキと早春の花木	40	坂本
3月26日	土	ツバキ園とサクラ	25	中野
4月12日	火	サクラとツツジ	22	竹内
4月23日	土	ハンカチノキと山野草	20	坂本
5月10日	火	初夏の樹木の花めぐり	5	竹内
5月28日	土	花いっぱい春のバラ園めぐり	16	原田
6月14日	火	イングリッシュガーデンと日本庭園	29	竹内
6月25日	土	アジサイと樹木の花めぐり	55	藤井
7月12日	火	夏の山野草と樹木の花	22	坂本
7月23日	土	樹木の花とロックガーデン	10	野呂田
8月27日	土	アサガオの巨大カーテン	23	若宮
9月13日	火	日本庭園周辺と展望台	20	橋谷
9月24日	土	色づき始めた果実のいろいろ	17	中島
10月11日	火	秋のグリーンフェアの行事「グリーンガイドツアー」を実施		
10月22日	土	色づき始めた樹木のいろいろ	10	北本
11月8日	火	冬桜、カリンの実と落葉針葉樹	26	竹内
11月26日	土	野菊と樹木の紅葉、黄葉	14	若木
12月13日	火	温かい温室の花と果実	20	島沢
		合計	415	

表3 例会・研修及びガイドボランティア通信一覧表

開催日	場 所	例会及び研修内容	参加者数
平成22年4月～12月小計		(内容は広島市植物公園栽培記録第31号に掲載)	345
平成23年 2月19日(土)	植物公園講堂	例会：平成22年度の活動計画及び研修について(案の提示)、ガイド実績表の変更について、新年度登録証の配付、季節の花さんば計画案、ガイドハンドブック2010年版の配付 ・勉強会「京都府立植物園と名古屋市東山植物園の視察報告」 管理課 山本課長補佐	34
平成22年度合計			379
平成23年 4月15日(金)	庄原市	野生植物観察会 庄原市帝釈峡にて石灰岩地の植物観察、キバナアマナ、スズシロソウ、イブキスミレなどのスミレの仲間、シロバナネコノメソウ、チョウジザクラ、ケスハマソウ、ヤマドリソウ、カタクリなどの観察	8
4月16日(土)	植物公園講堂	例会(総会) 総会(平成22年度事業及び会計報告、平成23年度活動計画及び予算の承認など)、9期生の紹介	51
5月8日(日)	植物公園バラ園	バラ研修 「開花期のバラについて学習」 講師：栽培・展示課 濱谷修一 9期生の研修を兼ね、先輩ボランティアも学習した。	18
6月3日(金)	神戸市	園外研修：六甲高山植物園と神戸市立森林植物園 高山植物園では職員の森下絵里氏による案内、森林植物園では職員の福本市好氏による案内を受けた。	22
6月4日(土)	植物公園ハナショウブ園	ハナショウブ研修 「開花期のハナショウブについて講習」 講師：植物公園植物友の会 会員 三輪 昇	10
6月19日(日)	植物公園講堂	例会及び研修 6月12日のお茶会報告、オオオニバス試乗体験会・親子植物体験教室への協力について、秋のグリーンフェアの内容検討など、植物のみの市：ピヨウヤナギ 勉強会「六甲高山植物園と神戸市立森林植物園の研修報告」 ・ガイドボランティア通信48号「帝釈峡の植物観察」(坂本俊弘)	43
8月27日(土)	植物公園講堂	例会及び研修 秋のグリーンフェア及び開園記念日への参加についてなど ・勉強会「大温室の植物と管理について」講師 栽培・展示課 高井技師 ・ガイドボランティア通信49号「六甲高山植物園と神戸市立森林植物園」(堂面京子、小田久美子)	39
10月22日(土)	植物公園講堂	例会及び研修 当番表について協議、秋のグリーンフェア参加報告、開園記念日のイベント計画(お茶会)について検討など、RHSの古い会報の提供、次年度継続条件の提示など ・勉強会「樹木医について」講師 栽培・展示課 木原課長補佐	32
10月28日(金)	福岡市	園外研修：福岡市植物園の視察研修とボランティア交流	15
12月10日(土)	植物公園講堂	例会及び研修 ・開園記念日と園外観察会報告など、来年度の役員改正と組織について協議、継続確認票用紙配付 ・勉強会「濱谷が主観で語る研究よもやま話」 栽培・展示課 技師 濱谷修一 ・ガイドボランティア通信50号「福岡市植物園研修に参加して」殿迫秀文、藤後司郎、塚原由美子、秋田志津子 ・懇親会・交流会(忘年会を兼ねる)	40
平成23年度(4月～12月)小計			270
平成23年(1～12月)の合計			304